

乳幼児施設向け救急ガイドブック

<救急要請マニュアル>



西条市消防本部 警防課

はじめに

西条市では、概ね5千人（令和4年4月現在）の乳幼児が生活しています。

その子どもたちが遊び、学び、育つ場所である施設として、西条市内には、保育事業所及び児童発達支援施設が公立・私立合わせて49施設あります。（令和4年4月1日現在）

「子どもは地域の宝」という言葉が表すとおり、子どもの成長に関わるのは家族・家庭だけではありません。地域全体で子どもの健やかな成長をサポートすることが大切であり、その枠組みの中において、乳幼児施設で働く皆様が果たされる役割は非常に大きいと言えます。

西条市消防本部では転倒等によるケガ、誤飲、誤食などの事故や、交通事故、急病などにより、年間240件程度の乳幼児を救急搬送しています。

救急隊が搬送した子どもたちの多くは、入院を必要としない軽度なケガや病気でした。しかしながら、割合としてはごくわずかではあるものの、命に係わる重大な事故も発生しています。

軽度のケガ等が発生した原因を検討し、重大な事故につながらないよう未然に対策を講じることが非常に重要です。

この「乳幼児施設向け救急ガイドブック」は、日常的に乳幼児の保育や教育に携わる事業所の皆様に、西条市における乳幼児の救急事故の発生状況、施設内でのケガや病気を予防するためのポイント、事故発生時の対応を円滑に行うために準備したいいただきたいこと等、いざというときの対応方法について知っていただくために作成しました。

皆様には、このガイドブックを活用していただき、子どもの事故を未然に防ぎ、いざというときには自信を持って対応できるよう備えていただきたいと思います。

また、ご家庭でも参考にさせていただける内容になっておりますので、ご活用ください。

西条市消防本部では、いざというときの応急手当を学んでいただく各種救命講習会を定期的で開催しているほか、西条市消防本部ホームページやInstagram、Facebookを活用して、防火・防災・救急に関する情報を発信しています。

また、救急車を要請するかどうか迷ったときに、判断を支援するためのツールとして小児専用救急相談ダイヤル「#8000」などが用意されており、巻末にはこれらの取組を紹介する資料を掲載していますので、併せてご活用ください。

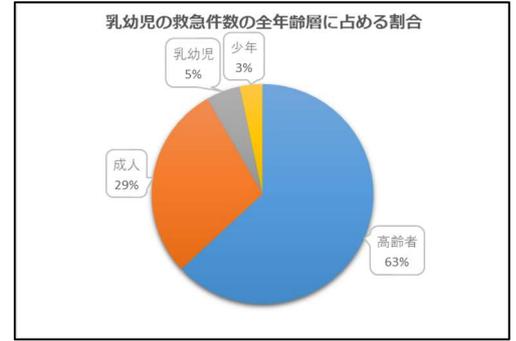
目 次

1	乳幼児の救急搬送の傾向	1
2	熱性けいれんについて	1
3	事故を防ぐために	3
4	緊急事態への備え	5
	(1) 応急手当を学ぼう！	
	(2) こんな時には119番	
	(3) 救急隊へ事前に情報提供できます！	
5	救急車要請のポイント	9
	(1) 必ずしていただきたいこと	
	(2) 救急隊が到着したら	
	(3) 情報提供シートの活用	
6	参考資料	12
	(1) 愛媛県子ども医療電話相談（#8000）	
	(2) 愛媛県医療情報ネット	
	(3) 西条市消防本部公式 SNS	
	(4) 愛媛県西条市消防本部 ホームページ	

1 乳幼児の救急搬送の傾向

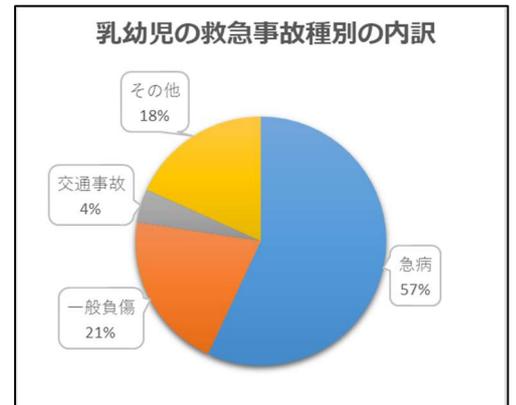
【乳幼児の救急件数について】

過去5年間で、西条市消防本部が乳幼児を搬送した件数は、年間平均で約**240件**で、全年齢層に占める割合は、約5%となっており、乳幼児の約**21人に1人**が救急搬送されています。



【乳幼児の救急事故種別の内訳】

右の図のとおり、事故種別は急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故と続きます。乳幼児は他の年齢層と比較して、**一般負傷の占める割合が高い傾向**があります。



【乳幼児施設での発生状況】

2012年～2021年の10年間で、西条市の乳幼児施設において、救急車を必要とした事案は56件発生しており、急病が44件と最も多く、症状としては「**けいれん**」が最多でした。次いで、一般負傷（ケガ）が12件となっており、そのすべてが「**転倒**」で、重症となった事例も発生しています。



2 熱性けいれんについて

【熱性けいれんとは】

熱性けいれんとは、発熱とともに全身のけいれんが起こる病気です。風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症といった感染症で熱が上がってから12時間以内に発症することが多く、手足を硬直させて“がくがく”とけいれんするのが特徴です。ほとんどの場合10分以内におさまります。

生後3カ月～5歳ごろまでの乳幼児期によく見られます。けいれんが起きるメカニズムについてはまだはっきりと解明されていません。

熱性けいれんを起こしやすい要因としては、

- ・ 親に熱性けいれんの経験がある。
- ・ 38.0度以上の発熱がある。

また男児の方が発症しやすい傾向があります。



【けいれんが発症した場合の対応】（まずは119番通報！！）

- ・ けいれんが続いた時間を測る。（可能なら“けいれん”している動画を撮影する）
- ・ 服を緩める。（特に首回り）
- ・ 顔を横向きにする。（嘔吐による窒息を防ぐ）
- ・ 口のまわりや鼻の穴が汚れていたらガーゼで拭き取る。

【けいれんしている最中の注意点】

- ・ 大声で呼びかけたり、揺さぶったりしない。
- ・ 口の中に物を入れないようにする。（※誤飲や窒息の危険あり）

【けいれんが治ったら】

- ・ けいれんが5分以内に治まり、意識が戻った場合はしばらく様子を見る。
- ・ 初めての場合は病院を受診してください。

【注意すべき症状】

- ・ けいれんが1日のうちに2回以上起こる。
- ・ けいれんが左右非対称
- ・ けいれん後の意識の戻りが悪い。
- ・ 微熱（37.5度）程度でけいれんがある。

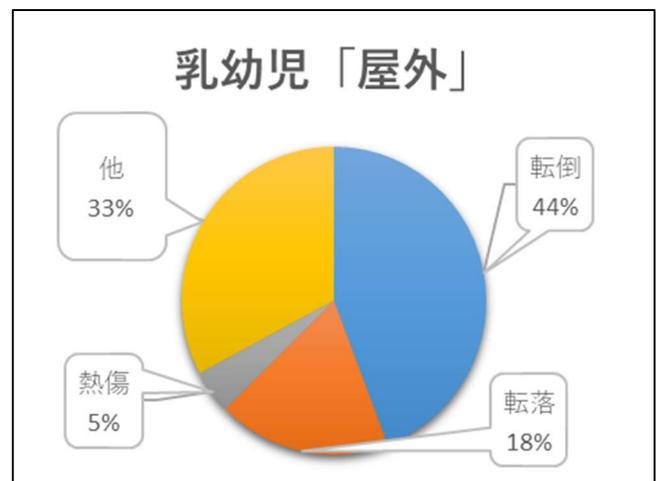
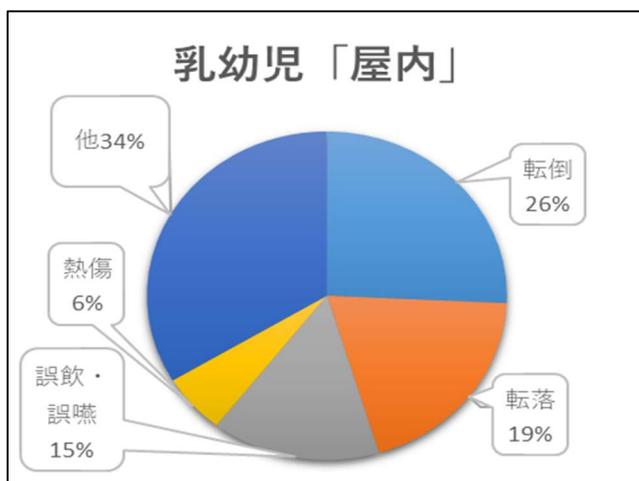


など明らかに様子がおかしい場合はすぐに119番通報をして救急車を要請してください。

3 事故を防ぐために

【ケガの発生要因】

ケガの内訳は屋内、屋外ともに「転倒」が1番多く、次いで「転落」となっています。屋内では次いで「誤飲」による救急による搬送が多くなっており、実例では「たばこ、おやつの包装紙、シール等」がありました。また、屋外では「熱傷」が多くなっています。



【転落事故の予防】

子どもの転落事故は、一人で歩き始める1～2歳頃から増え始め、3～4歳で最も多くなると言われています。3～4歳になると、心の成長（好奇心や自我が芽生える）と身体の成長（走る・登るなど活発な動きができるようになる）により、子どもの行動範囲は大きく広がります。しかし、まだそこに危険があるかどうかを判断することが難しく、大人が思いもつけないような行動をしてしまうことがあるため、注意が必要です。

子どもの転落事故としては、一人で階段を登り誤って転落、椅子の背もたれに登り後ろ向きに転落、窓際に座っていて後ろ向きに転倒し、網戸が外れて転落するなどが多数みられます。特に大人が目を離し、子どもだけで遊んでいるときに発生しており、転落事例では**頭部の負傷**が目立ちます。

予防の例

- ・ 窓際に異常がないか、網戸が外れやすくなっていないか定期的に点検する
- ・ 窓際や階段付近で遊んでいる際には、特に子どもの動きに注意する
- ・ 窓際などに足がかりとなるものを置かない。



【誤飲・誤嚥の予防】

誤飲・誤嚥は特に0歳～3歳の子どもに多い事故です。生後5カ月頃になると子どもは手につかんだものを何でも口に持っていくようになります。子どもは、口からのどまでが近く、口の中に入れた異物がのどに入りやすい特性があります。また、異物を吐き出す力が十分でないため、窒息や誤嚥を起こす場合があります。

子どもの口の大きさは、3歳くらいで直径約4cm（目安はトイレットペーパーの芯の直径）です。これより小さいものは子どもの口にすっぽり入るため、窒息の原因になる危険があります。直径4cm未満のものは子どもの周りに置かないように気を付けましょう。また、特に直径や対角線長が2cm未満の大きさのものは、誤嚥を起こしたときに気道を完全に塞いでしまうおそれがあり、更に注意が必要です。

窒息・誤嚥のサイン

子供が次の様子であれば、大至急状態を確認してください。

- ・ のどのあたりを押さえる
- ・ 口に指を入れ、取り出すようなしぐさをする
- ・ 呼吸が苦しそう
- ・ 顔色が急に青くなる



【総務省消防庁救急お役立ち ポータルサイトを加工して作成】

こんな事故が多く起きています。

いますぐ
確認!



◀他にも危険な事例がたくさんあります。確認してみましょう。

◀救急お役立ちポータルサイト

※発生事例の多い順に番号をつけています。

事故の原因を知って 対策をしましょう!

<p>1位 ころぶ</p> <p>風呂場、段差、洗面所など</p> <p>少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。目を離さないようにしましょう。</p>	<p>2位 おちる</p> <p>階段、窓、ベランダなど</p> <p>転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものを置かないようにしましょう。</p>	<p>3位 たべる</p> <p>たばこ、筆、電池など</p> <p>飲み込めそうなものは、手の届くところに置かないように注意しましょう。</p>	<p>4位 ひっかける</p> <p>ファイトの紐、水筒のストラップなど</p> <p>手の届かないところに置き、ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。</p>
<p>5位 ぶつかる</p> <p>机の角、テーブルの角など</p> <p>角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいように工夫しましょう。</p>	<p>6位 やけど</p> <p>アイロン、熱い飲み物など</p> <p>やけどのおそれのあるものは子供の手の届かないところへ置くようにしましょう。</p>	<p>7位 はさむ</p> <p>窓、ドア、引きだしなど</p> <p>危険と思われるところには、鍵などをして開けられないようにしましょう。</p>	<p>8位 きる</p> <p>包丁、カッターなど</p> <p>使用後はすぐに片づけて、簡単に開けられない場所に収納するようにしましょう。</p>
<p>9位 ささる</p> <p>ペン、歯ブラシ、ヘアピンなど</p> <p>ささりやすいものは使用後に片づけるなど、整理整頓を心がけるようにしましょう。</p>	<p>10位 おぼれる</p> <p>風呂場の水ビニールボールなど</p> <p>水深が浅くても溺れます。少しの時間でも目を離さないように注意しましょう。</p>		

【総務省消防庁救急お役立ちポータルサイトを加工して作成】

4 緊急事態への備え

(1) 応急手当を学ぼう

いざというときに心肺蘇生法や止血等の応急手当を行うことができるよう、救急に関する講習を受講しましょう。また、西条市消防本部では定期的に応急手当講習会を開催しているほか、西条市消防本部ホームページや SNS（Instagram、Facebook、西条市公式 Youtube チャンネル）にて情報を発信しています。

【応急手当に関する動画】

- ・ **ガイドライン 2020 心肺蘇生法 ～救急車が来るまでに～**



- ・ **いざという時のために！パートII**



【消防署で実施する救命講習に参加しよう！】

- ・ **団体で参加する場合**
 - 一般の救急講習・・・1時間程度
 - 普通救命講習Ⅰ・・・3時間・・・心肺蘇生法や AED の使用方法等
(WEB講習ありの場合は2時間)
 - 普通救命講習Ⅱ・・・4時間・・・普通救命講習Ⅰに知識、技能のテストが追加
 - 普通救命講習Ⅲ・・・3時間・・・主に小児、乳児に対する応急手当
(WEB講習ありの場合は2時間)
 - 上級救命講習・・・8時間・・・普通救命講習に加え、小児・乳児の心肺蘇生及び
AED、傷病者管理、搬送法など

・ 個人で参加する場合

西条市消防本部では、毎月第3日曜日を「**応急手当の日**」と定めて、市民救命講習会を実施しています。

救急隊員と一緒に応急手当を学びませんか？

下記のQRコードを読み込み、受講に必要な情報を入力すると市民救命講習の受講申請することもできます。

【東消防署で受講を希望される方】※偶数月



<https://logoform.jp/f/3QeUq>

【西消防署で受講を希望される方】※奇数月



<https://logoform.jp/f/h8qGA>

皆さんの参加をお待ちしております。

救命講習についての問い合わせは下記の連絡先まで。

【問い合わせ先】

東消防署 救急救助係 TEL : 0897-55-0119 MAIL : higashishobo@saijo-city.jp

西消防署 救急救助係 TEL : 0898-68-0119 MAIL : nishishobo@saijo-city.jp



(2) こんな時には、119番！

事故や急病で、緊急に病院へ搬送しなければならない場合・・・

『次の症状が出たら、ためらうことなく119番通報を』

こんなときにはすぐに119番!!

こども (15歳以下)



- 顔**
 - くちびるの色が紫色
 - 顔色が明らかに悪い
- 胸**
 - 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
 - 呼吸が弱い
- 手足**
 - 手足が硬直している
- 頭**
 - 頭を痛がって、けいれんがある
 - 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある
- おなか**
 - 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
 - 激しいおなかの痛みで苦しがる
 - 嘔吐が止まらない
 - 便に血がまじった

- 意識の障害**
 - 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)
- けいれん**
 - けいれんが止まらない
 - けいれんが止まっても、意識がもどらない
- 飲み込み**
 - 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない
- じんましん**
 - 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった
- やけど**
 - 痛みのひどいやけど
 - 広範囲のやけど
- 事故**
 - 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
 - 水におぼれている
 - 高いところから落ちた

●生まれで3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合



(3) 救急隊へ事前に情報提供できます！

特定疾患に関する情報提供について



西条市消防本部

近年、救急出動件数が増加し、病院への搬送時間が長くなってきています。

消防署では、特定疾患をお持ちの方の状況の事前把握を行い、1秒でも早い救急活動につながる取り組みを実施しています。

(例)

- ・先天性の心臓の病気
- ・エピペンをもっている
- ・気管支ぜんそく
- ・てんかん
- ・I型糖尿病 など



上記に該当する疾患をお持ちの方やその関係者の方は、最寄りの消防署までご相談ください。

【問い合わせ先】

東消防署 救急救助係

TEL : 0897-55-0119 MAIL : higashishobo@saijo-city.jp

西消防署 救急救助係

TEL : 0898-68-0119 MAIL : nishishobo@saijo-city.jp

※ 西条市消防本部では、公式 SNS で防災や救急等についての情報を発信しています。
日々の生活の一助となれば幸いです。

【Facebook】



【Instagram】



5 救急車要請のポイント

(1) 必ずしていただきたいこと

ア 大声で人を集める

乳幼児の異変に気づいたら、直ちに大声で助けを求めましょう。

イ 119番通報と応急手当

(ア) 手分けをして119番通報と心肺蘇生法等の応急手当をしましょう。

(イ) 応急手当は落ち着いて実施してください。もし方法がわからなければ、指令員が電話越しに説明しますのでそのとおりに実施してください。

(ウ) 119番通報と応急手当を手分けできない場合は、通報をしてから応急手当を実施してください。

→**スピーカー機能を使用**することで119番通報と応急手当を同時に行えます！

※ 119番通報の流れ（例：幼児がおもちゃをのどに詰ませた）

指令員「西条消防です、火事ですか、救急ですか？」

あなた「救急です。」

指令員「救急車が向かう住所を教えてください。」

あなた「西条市〇〇町〇〇番地・・・保育園です」

指令員「わかりました。どなたがどうされましたか？」

あなた「2歳の子どもがおもちゃを誤ってのどに詰ませたんです。」

指令員「わかりました。（この時点で救急隊に出動が指令されます）

救急隊は出動しましたので、子どもさんの様子を詳しく教えてください。意識はありますか？」

あなた「あります。苦しそうにしていますが、声が出ないみたいです。」

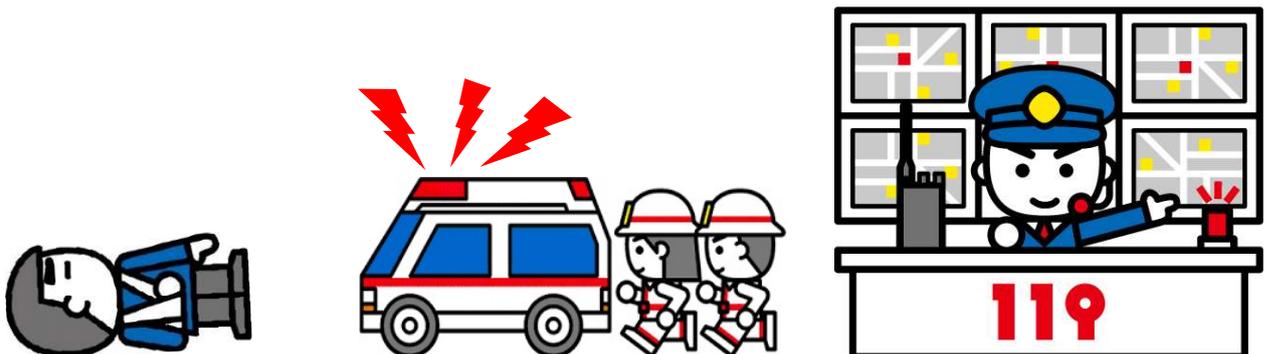
指令員「子どもさんは座っていますか？」

あなた「はい、椅子に座っています。」

※この後、状況等について聴取します。

※ 119番通報では、つぎの点について確認します。

- ① 消防車が必要か、救急車が必要か
- ② 事故発生場所
- ③ 状況やけが人の状態
- ④ 通報者の名前



ウ 保護者等への連絡

保護者等への連絡を行い、次のものを用意してもらい、以降連絡が取れるよう依頼してください。

- (ア) お薬手帳及び常用している医薬品
- (イ) 母子手帳

(2) 救急隊が到着したら

ア 誘導員の配置、他の子どもへの配慮

- (ア) 玄関に誘導の職員を配置してください。
- (イ) ほかの子どもたちが事故にあわないよう別の場所に集める等対応をお願いします。

イ 救急隊への情報提供

救急情報提供シートの活用

(3) 救急情報シートの活用

「救急情報提供シート」は、救急隊や医療機関が必要とする情報が集約されています。

記入したものを到着した救急隊に渡してください。

※記載された内容は、救急業務以外に使用しません。

救急情報提供シート

記載できる範囲で、かまいません。

フリガナ	サイショウ タロウ		生年月日	西暦	2019年 4月 3日
氏名	西条 太郎				
緊急連絡先 (家族等)	①氏名 (続柄)	西条 部長 (父親)	②氏名 (続柄)	西条 課長 (母親)	
	住所	西条市新田183-1	住所	西条市新田183-1	
	TEL	090-0000-0000	TEL	090-0000-0000	
かかりつけ病院	〇〇こどもクリニック		既往歴	熱性けいれん	
最終食事時間	11時30分ごろ		アレルギー	卵	
発症(受傷)を自覚(音を聞く)しましたか?	はい		いいえ	⇒	
	首段の状態を最後に確認したのはいつですか? ⇒			16:00頃	
救急車 要請 状況	いつ・・・	16時ごろ			
	どこ・・・	遊技場			
	何をした・・・	滑り台で遊戯中			
	どうなった・・・	転落した			
見	□顔面蒼白	<input checked="" type="checkbox"/> 嘔気・嘔吐	□発熱	□冷や汗	<input checked="" type="checkbox"/> 出血(頭部)
	□けいれん	□呼吸苦	□冷感	□変形(部位)	
	□麻痺()	□その他()			
救急車到着前の状況 転倒後、出血については圧迫止血を実施する。その後、嘔吐があった。					
《お願い事項》 ①正常な呼吸(胸の上下運動がない)がない場合は、心肺蘇生(胸骨圧迫)を行って下さい。 ②速やかな処置の実施のため、玄関の開錠・傷病者の居場所への誘導等をお願いします。 ③救急搬送の際、付き添い(発症状況のわかる方など)をお願いします。 ●この救急情報提供シートは、救急業務以外に使用しません。					

6 参考資料

(1) 愛媛県子ども医療電話相談事業（#8000）



突然子どもの身体の具合が悪くなった時、子ども医療相談事業（#8000）をご利用ください。

看護師や医師などが家庭での応急対処の方法などについて、アドバイスします。

【愛媛県保健福祉部社会福祉医療局医療対策課】

(2) 愛媛県医療情報ネット

愛媛県が提供する県民向けの救急医療情報システムです。

お住まい・お勤め先の地域や診療科目から医療機関の検索ができます。

パソコン及びスマートフォンからもアクセス可能です。

www.qq.pref.ehime.jp



(3) 西条市消防本部 公式 SNS

防災や救急などに関する情報を発信しています。

【Facebook】



[西条市消防本部 | Saijo-shi Ehime | Facebook](https://www.facebook.com/saijo.shi.ehime)

【Instagram】



[西条市消防本部\(@ehime.saijo.fire.dept\) • Instagram 写真と動画](https://www.instagram.com/ehime.saijo.fire.dept)

(4) 愛媛県西条市消防本部 HP [【https://www.city.saijo.ehime.jp/site/shobo/】](https://www.city.saijo.ehime.jp/site/shobo/)

